

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-イ	水域・陸域・大気・土壌環境の保全・再生	施 策	①水質汚濁対策及び地下水の保全・利用
			施策の小項目名	○各種污水处理施設の整備推進
主な取組	下水道事業		対応する成果指標	特定事業場排水基準の達成率（検査時）
施策の方向	・下水道、農業・漁業集落排水施設、合併処理浄化槽など、地域の実情に応じた各種污水处理施設の計画的かつ効率的な整備を推進するとともに、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換、浄化槽の適正な維持管理、公共下水道への接続等について、地域住民の水質保全及び浄化に関する意識の向上に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
公共用水域の水質保全を図るため、ほかの污水处理事業と連携し、地域性を考慮した効果的な下水道整備を推進する。	県,市町村	地域性を考慮した効果的な下水道整備を推進		
		下水道整備進捗率		
		86.51%	86.75%	86.99%
担当部課【連絡先】	土木建築部下水道課		【 098-866-2248 】	関連URL
				—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)	
予算事業名	中部流域下水道事業会計等					予算事業名	中部流域下水道事業会計等
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額				
内閣府計上	直接実施	6,108,717	5,468,295				
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画	
県の処理場等において、施設の増設および、老朽化した施設の改築・更新をした。						県の処理場等において、施設の増設および、老朽化した施設の改築・更新をする。	
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金（下水道課市町村事業）					予算事業名	沖縄振興公共投資交付金（下水道課市町村事業）
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額				
一括交付金（ハード）	その他	1,793,271	2,118,174				
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画	
23市町村において、地域性を考慮した污水管渠等の整備をした。						23市町村において、地域性を考慮した污水管渠等の整備をする。	

活動指標名	下水道整備進捗率		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県の処理場等において、施設の増設および、老朽化した施設の改築・更新をした。また、23市町村において、污水管渠等の整備を推進し、下水道の普及を図った。
	—	—	85.99%	86.51%	99.4%	順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
県内の下水道整備進捗率は、目標値86.51%に対して実績値85.99%であり、取組は順調に推移している。 下水道を利用できる区域が拡充されたことで、生活環境の改善や公衆衛生の向上が図られ、公共用水域の水質保全に寄与した。 (R7年度の実績値は集計中のため、R6年度の実績値を参考に入力)	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の実績改善案	反映状況
○ 下水道事業を実施している市町村に対して、新規整備や改築に関する今後の所要額の確認、費用対効果の高い地区の洗い出し、整備の優先度の検討状況など、ヒアリングを実施する。 ○ 下水道の整備推進による流入汚水量の増加に対応するため、処理場の処理能力を確保する。 ○ 新たな財源の検討や官民連携および汚水処理事業広域化・共同化の取組強化、関係事業の進捗確認など、県と市町村で情報共有等を行い、下水道事業の進捗を図る。	○市町村に対して、施設整備の優先度の検討状況など、ヒアリングを実施した。 ○各種交付金等・補助金の活用を説明会を行い関係市町村に対して周知した。 ○下水道の整備推進による流入汚水量の増加に対応するため、処理場の処理能力を確保した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	市町村の財政事情等により、下水道事業に充てられる予算や人員が限られている中、老朽化した施設の増加や自然災害への対応が増加している。また、ほか事業の進捗に合わせた整備を実施する必要がある。	② 連携の強化・改善	下水道事業を実施している市町村に対して、新規整備や改築に関する今後の所要額の確認、費用対効果の高い地区の洗い出し、整備の優先度の検討状況など、ヒアリングを実施する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-イ	水域・陸域・大気・土壌環境の保全・再生	施 策	④自然環境再生の推進
			施策の小項目名	○自然環境に配慮した海岸の整備
主な取組	自然環境に配慮した海岸の整備		対応する成果指標	自然環境に配慮した河川整備率
施策の方向	・ 自然環境及び生物相互のバランスに配慮しつつ、沖縄らしい砂浜の創出や海浜緑地の創出など、地域の特性に応じた海岸の整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
自然環境に配慮しながら、地域の特性に応じた海岸保全施設を整備する。	県	自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備		
		整備延長(累計)		
		0.2km	0.2km(0.4km)	0.2km(0.6km)
担当部課【連絡先】	土木建築部海岸防災課		【 098-866-2410 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	海岸メンテナンス事業費		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
内閣府計上	直接実施	113, 189	169, 096
令和7年度活動内容			
伊佐海岸等において、護岸工（L=約0.12km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組んだ。			
予算事業名	港湾海岸メンテナンス事業費		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
内閣府計上	直接実施	71, 842	216, 943
令和7年度活動内容			
中城湾港海岸川田地区等において、護岸工（L=約0.2km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組んだ。			

(単位：千円)

予算事業名	海岸メンテナンス事業		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
内閣府計上	直接実施	150, 179	
令和8年度活動計画			
伊佐海岸等において、護岸工（L=約0.14km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組む。			
予算事業名	港湾海岸メンテナンス事業費		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
内閣府計上	直接実施	199, 614	
令和8年度活動計画			
中城湾港海岸川田地区等において、護岸工（L=約0.05km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組む。			

様式1（主な取組）

予算事業名		そのた海岸事業（海岸事業費等）		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
一括交付金 （ハード）	直接実施	238,023	267,287	
令和7年度活動内容				
塩屋港海岸等において、護岸工（L=約0.16km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組んだ。				

予算事業名		そのた海岸事業（海岸事業費等）		
R8年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		
一括交付金 （ハード）	直接実施	689,450		
令和8年度活動計画				
塩屋港海岸等において、護岸工（L=約0.41km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組む。				

活動指標名	整備延長（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	0.48km	0.2km	100.0%	順調	塩屋港海岸等において、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備を実施した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
令和7年度は補正予算も活用しながら、事業進捗を図り、目標値L=0.2km以上を達成したため、順調である。							
(2)これまでの改善案の反映状況							
令和7年度の取組改善案				反映状況			
○ 建設業者の技術者不足が一つの要因となり、入札不調が生じていたことから、技術者が比較的確保しやすい時期（年度当初等）に工事等を契約できるよう発注計画を立てる。 ○ 本取組を実施する際は、引き続き、十分な施工計画等を検討したうえで、工事等を発注する。				工事の発注に際して、十分な施工計画等の検討を踏まえ、発注計画を立てることで、目標値を達成した。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	引き続き、十分な施工計画等を検討したうえで、発注計画を立てる。	⑦ 取組の時期・対象 の改善	予算成立も踏まえ、十分な施工計画を検討し工事等の発注をする。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(2)-イ	水域・陸域・大気・土壌環境の保全・再生	施 策	④自然環境再生の推進
			施策の小項目名	○自然石等を用いた河川の整備
主な取組	自然環境に配慮した河川の整備		対応する成果指標	自然環境に配慮した河川整備率
施策の方向	・ 自然石等を用いた河川護岸の整備や景観・環境に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
護岸に自然石を使用する等、環境・景観に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生を図る。	県	自然石等を用いた河川の整備		
		整備延長(累計)		
		0.3km	0.3km(0.6km)	0.3km(0.9km)
担当部課【連絡先】	土木建築部河川課		【 098-866-2404 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄振興公共投資交付金 (河川) 等

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ハード)

直接実施

2, 218, 000

1, 884, 000

令和7年度活動内容

自然石等を用いた河川護岸の整備や景観・環境に配慮した多
自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生を図った。

(単位: 千円)

予算事業名

沖縄振興公共投資交付金 (河川) 等

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ハード)

直接実施

1, 561, 000

令和8年度活動計画

自然石等を用いた河川護岸の整備や景観・環境に配慮した多
自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生に取り組
む。

活動指標名

整備延長 (累計)

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

やや遅れ

安里川ほか17河川において、環境・景観に配
慮した多自然川づくりを推進するため、用地取得
および護岸工事等を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和7年度の自然石等を用いた河川の整備延長は0.19kmであり、目標0.30kmに対して達成率63.3%となったことから、進捗状況は「やや遅れ」となった。目標に届かなかった要因としては、河川拡幅に伴う橋梁の架け替え工事や用地の先行取得など中心に取り組んだためと考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○河川事業では河川の拡幅に伴い、多くの橋梁の掛け替え等に期間を要することから、道路橋の占有者である関係市町村に事業スケジュールなど早めに協議し、事業の進捗を図る。
○河川整備は、下流側から整備するという事業の特殊性から、事業効果をあげるためには計画的かつ難航事業早期解決などの用地取得を工夫する。

○現在架け替え工事中の橋梁に関しては、地元市町村の協力を得て順調に作業が進んでいるが、橋梁工事は比較的難易度が高いため多くの予算と時間を要している。
○用地取得に関しては、比較的順調に進んでいる。

- 9 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	米軍提供施設内を流れる河川も多く、施設内での調査や工事の手続きに時間を要することや米政府の閉鎖による影響も受けている。	⑧ その他	米軍提供施設と関連する事業に関しては、これまで以上に手続きを前倒しで行う。
⑦ その他内部要因(改善余地の検証等)	河川整備は、工事中も河川の水を止めることができず、安全対策や施工方法の制約も多いため比較的難易度の高い工事が多く、また、下流側から整備しなければならない特殊性から、整備に時間を要している。	② 連携の強化・改善	スムーズに河川整備に着手するため、今後掛け替えが予定されている橋梁に関しては、管理者である関係市町村との事前協議を先行して進める。